

令和6年度（令和5年度対象）
教育委員会事務の点検及び評価に関する
報告書

令和6年9月
坂東市教育委員会

1 趣旨

本市では、坂東市総合計画「ばんどう未来ビジョン」第2期戦略プランにおいて、本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、基本方針に定める「ひとづくり」に関する部分をもって、「坂東市教育に関する大綱」としており、本方針に基づき各種の施策・事務・事業に取り組んでいるところです。

教育委員会は、教育に関する事務の管理及び執行状況について、外部の知見を活用して点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、毎年公表することとしております。

こうしたことから、坂東市教育委員会が市民の皆様への説明責任を果たし、信頼される開かれた教育行政を推進するとともに、教育行政の質の向上と効率化を図るため、教育委員会事務の点検及び評価を実施しましたので、その結果を報告するものです。

2 点検評価の対象

点検評価の対象は、令和5年度に坂東市教育委員会が行ってきた38項目の主要事務事業です。

3 点検評価の方法

- (1) 点検評価に当たっては、「坂東市教育委員会事務点検及び評価実施要綱」の規定に基づき、当該事務の目的などを考慮して総合評価を行い、今後の対応方向を示しました。
- (2) 点検評価の客観性を確保するため、2人の事務点検評価委員から様々なご意見をいただきました。

4 点検結果

点検及び評価結果一覧表のとおり

5 坂東市事務点検評価委員の意見

(1) 防犯・交通安全

○学校安全巡回業務

- ・近年、学校への不法侵入により、児童や教職員が襲われるといった事件が発生していることから、学校安全巡回業務については、人材の確保の困難等課題はあるものの、講習等により学校安全巡回員の人材育成を図り、子どもたちの安全確保と教職員の負担軽減に努めていただき、今後とも継続して実施いただきたい。

○通学用ヘルメット支給事業

- ・登下校時に児童・生徒が被害に遭う交通事故が全国的に後を絶たない現状もあることから、児童・生徒個々の事情や保護者からの要望も踏まえ、引続きヘルメットの着用等により安全確保に努めていただきたい。
また、近年頻発する災害においても活用が見込まれることから、防災教育としてのヘルメットの活用についても一部の小・中学校に限らず全校的に積極的に検討いただきたい。

(2) 地域文化継承

○文化財保護事業 埋蔵文化財調査事務

- ・近年、火災や災害による文化財の消失等が全国でも後を絶たないことから、文化財の適切な保護のための継続的な支援と埋蔵文化財の調査や保護に引き続き努めていただきたい。
また、専門職員の確保や担当者の知識習得のための研修参加等についても検討いただきたい。

○逆井城跡公園管理

- ・史跡公園にふさわしい管理や文化財の保護、また、フィルムコミッション等を通じた観光資源としての利活用にも引続き努めていただきたい。

(3) 芸術・文化

○資料館運営事業 坂東郷土館ミュージーズ管理運営事業

- ・郷土の歴史や文化財、美術作品、資料などの調査、研究を進め、その成果をオリジナリティ溢れる企画展として開催するとともに、観光資源としても引き続き全国にその魅力を発信していただきたい。

また、企画展の開催に際しては、利用者が安全・安心して利用できるよう限りある予算のなかで施設、設備の計画的な維持管理にも努めていただきたい。

なお、坂東郷土館ミュージーズ管理運営事業に係る修繕予算等については、予算区分等各課題が多く、修繕計画にも影響することから、財政部局とも調整のうえ早急に事務的な改善を検討いただきたい。

○文化振興事業団運営事業

- ・文化ホールは坂東市の芸術文化発信を担うリーダー的存在でもあることから、今後もホールの特性を生かしたクラシックコンサートを中心に企画しながらも、より幅広い年齢層を集客するために、音楽業界の動向等について情報収集し事業展開を実施いただきたい。

(4) 幼児教育

○幼稚園施設管理業務 幼稚園施設整備事業

- ・園児が減少するなかでも、保護者が安心して預けられるよう園舎等の計画的維持管理、設備、機器の保守管理等に努めていただきたい。

また、廃園舎の今後の利活用についても引き続き検討いただきたい。

(5) 学校教育

○通学バス運行業務

- ・児童の利便性と安全確保の観点から運転手の確保等各課題はあるものの運行の継続に努めていただきたい。また、将来の学校の統廃合等も見据えた運行についても引続き検討いただくとともに、民間バスとの料金負担のあり方等についても引続き検討いただきたい。

○学校図書購入事務

- ・活字離れと言われている昨今、小学校低学年から読書を習慣とすることは大変重要なことですので、最低限、各学校図書館が図書標準冊数の基準を満たし、各校の図書が充実されるよう今後も努めていただきたい。

○学校教材購入事務

- ・各学校とも、多様化する教育現場に対応するべく、計画的な教材備品の購入・更新を図り、教育環境の整備・充実に今後も努めていただきたい。

○介助補助員配置事業

- ・学校における障害児の安全確保や教職員の負担軽減の観点から、今後益々重要な事業となりますので、適切な人員の確保と介助補助員の資質向上に努めていただき、きめ細かい教育支援を図っていただきたい。

○要保護・準要保護児童生徒就学援助及び特別支援教育就学奨励業務

- ・多国籍化する児童・生徒世帯への援助費の給付や周知については、困難な状況もあると感じておりますが、一層の事業周知・給付に努めていただきたい。また、特別支援教育就学奨励費の支給については、対象の保護者の負担軽減に資する事業であるため、今後とも継続いただきたい。

○小中学校施設管理業務 小中学校施設整備事業

- ・市内学校施設については老朽化が進んでおり、児童・生徒の安全確保のため、学校施設や設備の計画的な点検、補修に努めていただくとともに、季節的な使用に限られているプール等については、市営プールの統合的な利用等についても今後検討いただきたい。

○学校給食センター運営

- ・施設の老朽化に伴い、長寿命化を含めた新たな運営方法を検討いただきたい。また、より一層の地場産食材を活用した給食の提供と衛生管理等安全安心な給食の提供を継続いただきたい。

○家庭教育学級

- ・オンデマンド配信等を取り入れることは、学習機会や保護者同士のネットワークづくりの拡大に効果的であるため、今後も子育てに悩む保護者のためにも継続して状況に応じた学習機会の確保に努めていただきたい。

○訪問型家庭教育支援事業

- ・必要な時に必要な支援が届くように支援員の資質向上及び確保に努めていただき、不登校の児童・生徒に苦慮する家庭への支援を引き続き実施いただきたい。

○教職員等人権教育研修会

- ・コロナ禍以降参加人数を制限、規模を縮小して開催することにより、能動的なワークショップ型の学習会を開催、人権課題に対してより理解を深めることができると思うので、課題に対して統一理解ができるよう引き続き継続いただきたい。

○外国語指導助手配置事業

- ・ A L T の資質の向上や効果的な活用により、児童生徒の更なる語学力の向上を図り、A L T を通して外国の文化や習慣などに慣れ親しむことで、グローバル人材の育成、国際教育の推進に引き続き務めていただきたい。

○適応指導教室運営

- ・ 指導員の確保等課題はあるものの、不登校児童生徒の学校復帰と学習機会の提供のため、ひとりひとりに寄り添った事業を今後も継続いただきたい。

○T T 特別配置事業

- ・ 非常勤講師の確保という課題はあるものの、児童・生徒の学力の向上を図るため、引き続き講師の資質向上やきめ細やかな指導に努めていただきたい。

(6) 青少年健全育成

○放課後子ども教室事業

- ・ 指導員の高齢化等課題はあるものの、児童・生徒の放課後の安全な居場所づくりと学習機会の提供に努めていただきたい。

○青少年センター業務

- ・ コロナ禍より SNS における被害防止に取り組むなど状況に応じた青少年の健全育成に努めたことは評価できるので、今後は他の青少年健全育成を目指す団体との連携や交流についても推進いただきたい。

○青少年育成団体支援業務

- ・「110 番の家」普及啓発事業について、近年空き家等が増えるなかで、空き家になった家にも従前のまま「110 番の家」の掲示物が貼られたままになるなど実態等について確認いただきたい。

事業全般については、今後も他団体との連携を図りながら目標の達成に努めていただきたい。

○青少年の健全育成業務

- ・高校生ボランティアに中学生ボランティアが統合され、異年齢交流が提供できたことや他団体との共同ボランティアを実施するなど活動の幅が広がったことは評価したい。今後とも参加者からの希望や意見を取り入れ、事業の充実を図り活動を継続いただきたい。

○教育相談事業

- ・今後、適応指導教室と兼ねて事業実施となるとのことだが、児童生徒や保護者等が相談できる場所があることは心強いことと思いますので、今後もひとりひとりに寄り添った支援を継続いただきたい。

(7) 生涯学習

○作品展開催業務

- ・「市民文化祭」として岩井公民館まつりと文化協会まつりを同時開催するという新しい試みは、多くの人目にふれる機会となり、発表する市民の側にとっても生涯学習の成果を発表する良い機会となり参加意欲の向上にもつながるため、引続き事業継続いただきたい。

○公民館講座

- ・ニーズに応じた特色ある事業や魅力ある事業を開催いただきながら、受講が少ない層（高齢男性、若年層）向けの講座開催についても、時間帯、ネーミング等を工夫するなど検討いただきたい。

○公民館まつり

- ・岩井公民館まつりは、公民館講座修了後の自主グループや公民館を活動の拠点とする団体における学習成果の貴重な発表の場であることから、取り組みを今後も継続いただきたい。

○学校図書館支援センター推進事業

- ・学校図書館協力員による図書の読み聞かせ等が実施されるなど、児童生徒の読書活動や学習活動を推進するために大いに役立っているため、今後も人材の確保と市立図書館等との更なる連携に努めていただきたい。

○図書館資料購入事業

- ・利用者の多様化するニーズに応える図書の収集について、限りある予算のなかで選抜することは大変困難なことと思いますが、各協力団体の支援や他の図書館等との連携を図りながら図書の提供に努めていただきたい。

○図書館催事事業

- ・催事が再開されたことが利用者に徐々に浸透し、以前からの参加者に加え、新たな参加者も増えているということなので、この機会に多くの利用者が楽しめる企画（おはなし会や人形劇、映画会等）を今後も積極的に実施いただきたい。

(8) スポーツ・レクリエーション

○坂東市スポーツ協会運営

- ・加盟団体主催のスポーツ大会への参加について、以前は運動やスポーツに親しみのない方や競技初心者が気軽に参加できない雰囲気があるなど課題があったが、ボッチャなどレクリエーション的な気軽に参加できる取組みを実施するなど課題改善に向けた取組も実施されているので、今後も引き続き課題を改善しながら各種スポーツ事業の実施を継続いただきたい。

○体育施設整備事業 体育施設管理業務

- ・多岐にわたる施設の整備や管理、限られた予算のなかでも利用者が安全・安心に利用できるよう、施設及び設備の整備、維持管理に今後も努めていただきたい。

また、今後増大する修繕費等の確保についてもクラウドファンディング等各種検討いただきたい。